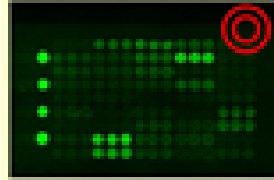


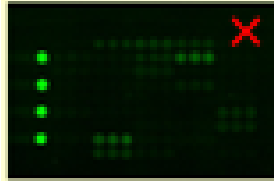
GSR1200 仕様

通常スキャン条件
72 scans, 98 sec/chip
(Gain105, 133 msec)



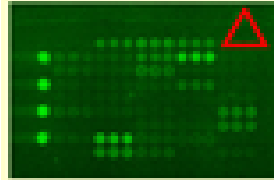
前処理工程の最適化により少細胞数 (例 : 20 cells)
での糖鎖プロファイリングが可能

通常スキャン条件
72 scans, 98 sec/chip
(Gain105, 133 msec)



さらに細胞数を減らした場合 (例 : 5 cells)
メジャーレクチンのシグナルのみが観察されてしまう
→感度の不足

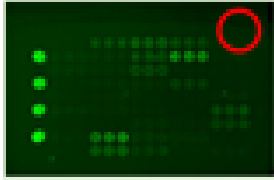
高感度スキャン条件
72 scans, 98 sec/chip
(Gain125, 133 msec)



シグナルを得るためにスキャン条件を
高感度仕様にするとうーストシグナルが生じてしまう

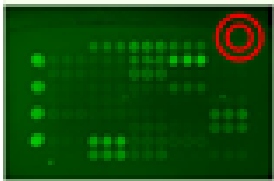
GSR2300 新仕様

新スキャン条件
7 scans, 76 sec/chip
(10 sec/well)



sCMOSカメラの導入によりゴーストシグナルの消失
広視野特殊レンズの導入によりスキャン時間の大幅短縮
一方で、感度低下による1 scanあたりの露光時間増加

ビニング機能使用
7 scans, 13 sec/chip
(1 sec/well)



ビニング機能追加により輝度を増幅
5 cellsでも20 cellsと同質の糖鎖プロファイリングが
取得可能に→圧倒的な高感度化・高速化を実現！